桜十字福岡病院　広報誌

Take Free

Vol.35
ご自由に
お取りください

桜ふわり

SakuraFuwari

Winter/ Spring 2026

ご入院・ご入所の相談窓口　地域医療連携室

ご入院・ご入所を希望される方に、地域の医療機関の皆さまと連携を図りながら迅速な対応をいたします。また、「患者さま・お客さま相談窓口」を設け、介護保険や各種福祉サービス、お支払いに関するご相談など、様々なお悩みやご要望に対応しております。

ご入院・ご入所は**地域医療連携室**まで

桜十字福岡病院への入院について
092-791-1130
（受付／平日8：30～17：30）

レ・ハビリス桜十字への入所について
092-791-1150
（受付／平日8：30～17：30）

病院概要（2026年2月現在）

■ 診療科目
- 内科
- 総合診療内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病内科

＜専門外来＞
- 漢方内科
- リハビリ外来
- 歩行装具外来
- 整形外科
- 脳卒中外来
- 発熱外来

■ 病床数
- 地域包括ケア病棟　49床
- 回復期リハビリテーション病棟　100床
- 障害者施設等一般病棟　50床

関連施設

■ 桜十字大手門病院

■ 介護老人保健施設レ・ハビリス桜十字

■ 通所リハビリテーション
- レ・ハビリス桜十字 デイケアセンター
- 桜十字大手門病院 デイケアセンター

■ 有料老人ホーム
- ホスピタルメント福岡天神
- ホスピタルメント桜十字博多
- ホスピタグラン大濠公園

■ 訪問診療

■ 訪問看護
- 桜十字福岡病院訪問看護ステーション
- 同上サテライト福岡西
- 桜十字訪問看護ステーション博多駅南 ※
- 桜十字訪問看護ステーション黒門 ※

■ 訪問リハビリ
- 桜十字福岡病院訪問リハビリテーション
- 桜十字大手門病院訪問リハビリテーション

■ 訪問介護
- 桜十字福岡病院訪問介護ステーション ※
- 桜十字訪問介護ステーション博多駅南 ※
- 桜十字訪問介護ステーション赤坂 ※

■ 居宅介護支援
- 桜十字福岡病院ケアプランサービス
- 桜十字ケアプランサービス黒門
- 桜十字ケアプランサービス福岡西
- 桜十字ケアプランセンターちくし

■ デイサービス（Let's リハ！）
- 福岡市内12店舗
- 福岡市外5店舗
- 佐賀県内2店舗

■ 福祉用具販売・貸与
- 桜十字福祉用具

※）ホスピタ入居者さま向けのみ

外来診療時間

【平日】午前8：30～午後5：30
【土曜】午前8：30～午後12：30（第1・3土曜のみ）
【休診】土曜日（第2・4）、日曜日、祝日、年末年始

092-791-1100

人間ドック・健診センター

【平日】午前8：30～午後4：30
【土曜】午前8：30～午後12：00（第1・3土曜のみ）
【休診】土曜日（第2・4）、日曜日、祝日、年末年始

092-791-1120

桜十字福岡病院ウェブサイトおよびSNS公式アカウントより最新情報を入手

公式ウェブサイト　公式Instagram　公式X　公式YouTube　公式TikTok　採用公式LINE

2026年2月発行　発行：医療法人福岡桜十字　桜十字福岡病院　広報「桜ふわり」編集チーム　〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3丁目5-11

GRAND PRIX

桜十字福岡病院人間ドック・健診センターが第11回2025年日総研接遇大賞を受賞!

日総研接遇大賞を受賞

桜十字福岡病院 人間ドック・健診センターが、「第11回２０２５年日総研接遇大賞」を受賞しました。

「日総研接遇大賞」は、一般社団法人 看護&介護ひとづくり協会が主催する、接遇マナーの優れた病院や介護施設を表彰する制度で、今年で11回目を迎えます。

当院人間ドック・健診センターが日々行っている接遇改善に向けた取り組みが高く評価され、今回の大賞受賞に至りました。今年度、受賞したのは、東京・大阪・岡山にある病院・施設で、全国で当センター含め4施設となっています。

接遇日本一への挑戦

日総研接遇大賞の選考基準は左記3点です。

- 模範となる独自の取り組み
- 継続性・組織文化としての定着
- 利用者の声の反映と改善

利用者さまへの日頃の接遇対応はもちろんのこと、その接遇姿勢を醸成する教育や組織文化についても評価の対象となっています。今回は、当センターの「模範となる独自の取り組み」や「継続性・組織文化としての定着」を高く評価いただきましたので、少しだけその取り組みについてご紹介します。

当院の人間ドック・健診センターは、毎年約二万六千人を超える皆さまにご利用いただいていますが、受診者さまによる評価の大部分を占めるのが、直接対面したスタッフによる接遇対応です。当センターでは、利用者さまと最初に対面する受付や健診をスムーズに進めるためのコンシェルジュがその役割を担います。

同じ接遇目標で意識を統一

利用者さまに気持ちよくご利用いただくための独自の取り組みとして、毎月受付・コンシェルジュ全員でひとつの接遇目標を立てて実行しています。スタッフ全員の気持ちをひとつにするこの取り組みは、昨年の4月にスタートし、正社員やパートなどの区分なく、統一した目標となります。基本的な挨拶の仕方から始めて、次は姿勢や表情、その後は受診者さまへの具体的な対応へと少しずつレベルアップし、1年でスタッフ全員がすべての接遇対応における項目でレベルアップができるよう、接遇に特化した目標を設定しています。

独自の評価システムを採用

毎月立てる目標を実行するためには、そのモチベーションとなる評価制度も必要だと考え、スタッフの頑張りや成長を正当に評価する仕組みを同時に導入しました。それが毎月行っている「接遇グランプリ」の開催です。「接遇グランプリ」は毎月末に持ち回りで若手スタッフを数人選出し、今月の目標に対してどうだったかを全員にヒアリングし、一番目標に対してグランプリにふさわしいと思うスタッフを2名投票する方式で選出しています。単純な投票形式にはせず、ヒアリング形式にしたのは、工夫したことや取り組みに対する姿勢などを深ぼりできること、またそこから吸収することが多くあると考えたためです。実際に経験の浅いスタッフがベテランスタッフから、このヒアリングを通して得られる気付きが多いと好評で、コミュニケーションも以前に比べて活発になったと感じています。

心地よい受診環境を目指して

毎月スタッフ統一の接遇目標をたて、それを全員で実行し、そこに対する評価をしっかり行うことで好循環を生み出している人間ドック・健診センターの受付・コンシェルジュ。今後の目標は、接遇のスペシャリストを育成すること。接遇対応に上限はありませんが、外部でも接遇研修を行えるほどの実力を身につけたスタッフを育成することで、さらなる高みを目指していけると考えています。

検査項目には採血やマンモグラフィー等痛みを伴う検査がありますので、当日は緊張されている方も少なくありません。そのなかで、いかに心地よくリラックスして受診いただけるかに心を配り、丁寧かつ迅速な対応で利用者さま満足を高めていく環境づくりができるよう尽力していきます。

受賞の報告を受けて

桜十字福岡病院
人間ドック・健診センター
コンシェルジュ　リーダー

桜十字の受付・コンシェルジュ歴9年の接遇のスペシャリスト。接遇インストラクターを目指して日々勉強中。

応募は早いのではないかとの声もありましたが、高司センター長、林田事務長をはじめ、皆さまにサポートをいただきながら、思い切って挑戦いたしました。この喜びを胸に、利用者さまへより良い受診環境を提供していけるよう、スタッフ一同引き続き精進してまいります。

事務長よりご挨拶

良いところに目を向ける桜十字健診スタッフのポジティブな文化が土台にあってこその結果だと思います。今後もスタッフの挑戦を全力でサポートしていきます。今回の受賞をお客さま満足につなげて、福岡の健診ではナンバーワンと言われるよう、サービスの拡充に尽力してまいります。

桜十字福岡病院
人間ドック・健診センター事務長

接遇以外の 魅力ポイント3選

1 ヘルシーなランチ付

胃部検査をご受診の方には、病院1Fのカフェや2F健診ラウンジにてシェフが作ったお野菜たっぷりで身体に優しいヘルシーランチをご提供!

※画像は一例。他にも提携飲食店がございます。

2 内視鏡検査は鎮静剤使用可能

口からの内視鏡検査では、検査時の苦痛を軽減するために鎮静剤を使用可能です。
また、負担の少ない経鼻内視鏡検査にも対応しております。

3 充実のアフターフォロー

病院併設の健診センターのため、結果を病院と共有できます。
万が一再検査になってもスムーズに対応可能!
紹介状も無料で健診結果に同封いたします。

人間ドック・健診センター受付時間　092-791-1120　月曜～金曜　8:30 ～ 16:30　第1・第3 土曜 8:30 ～ 12:00　専用予約サイト

福岡桜十字全体に浸透するNICD

NICD(※)とは、「意識障害および寝たきり(廃用症候群)患者の自立に向けた看護」の略称で、患者さまの生活行動を可能な限りご自身でできるように支援することを目的とした看護技術におけるリハビリテーションです。

NICDエキスパート研修とは

NICDを学ぶ研修を、福岡桜十字では「NICDエキスパート研修」と呼び、各病棟・病院から立候補した1~3名ほどの職員へ、約半年かけて、講師陣による教育を行い育てていく研修制度です。22年から始まったこの研修は、これまで23名の職員が修了しており、3期生からは桜十字福岡病院以外では初となる桜十字大手門病院の職員も参加するなど、福岡桜十字全体へと確実にその波は広がっています。

3つのコア技術と7つの生活行動

NICDの核となる7つの生活行動は「姿勢を維持する」「栄養をとる」「食べる」「呼吸する」「眠る」「排泄する」「移動する」の7つ。NICDエキスパート研修では、これらの生活行動を少しでも患者さま自身でできるようにするために、生活リズムの調整と栄養改善を行う「身体調整看護技術」、身体のねじれや拘縮の予防改善を行う「身体解放看護技術」、五感を使って繰り返し動作し記憶を呼び戻す「生活行動再獲得技術」の3つのコア技術を使ってアプローチする看護技術を学ぶことができます。

伝播する紙屋克子先生の教え

5期生となる今回は、桜十字福岡病院と桜十字大手門病院を合わせた10名が、NICDの習得を目指して約半年間の研修をスタートさせました。その開講式には、NICDの第一人者でいらっしゃる紙屋克子先生と林裕子先生にもご出席いただきました。紙屋先生は、24年まで熊本の桜十字病院で看護部特別顧問を務められるなど、桜十字とも深いつながりがあります。そして、25年には看護界で最も栄誉ある賞といわれる「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章されました。患者さまを「意思表出の手段を奪われた存在」と捉え、あきらめることなく寄り添い続ける姿勢は、多くの看護師・介護士に深い感動と影響を与えています。

下段中央：紙屋克子先生、上段中央：林裕子先生

※NICD(Nursing to Independence for the Consciousness disorder and Disuse syndrome Patient)

診(み)る力で可能性を見出す

ここ福岡では、その教えをもとに、「ひょっとしたらこれができるかもしれない」と看護の診(み)る力を養い、想像することによって、患者さまの可能性を見出すことを大切にしています。寝たきりの患者さまは「本当に寝たきりなのか?」「寝かせきりにしていないだろうか?」「この体勢でも何かできることはないか?」・・・。そのように、患者さまの可能性を想像することからスタートします。昨年の4期生による事例発表では「食事を拒否する患者さまが、自らお茶やお菓子を口に運ぶようになった事例」や「遷延性意識障害のある患者さまがTVを見ながら5時間離床して過ごした事例」などが成果として発表されました。

新たな想いを胸に

5期生の研修生代表あいさつでは、「『ここまでが限界ではないか』『これ以上の回復は難しいのではないか』と判断してしまう自分がいましたが、NICDにより患者さまに表情が生まれ、生活が拡大する様子を目の当たりにしました。後遺障害だけを見て可能性を狭めてしまっていたのは、自分自身だと思うようになり、看護師の役割を改めて問い直したいと強く思い、今回の研修受講を決めました。」と決意を語ってくれました。

NICDの現場を見学される紙屋先生

患者さま満足のために

1月末からスタートし、10月の事例発表まで通常業務を行いながらNICDの習得にあたる研修生たち。今年で5年目を迎える福岡桜十字のNICDですが、最近はその習得を目指して入職される方も少しずつ増えてきました。知識や技術だけではなく、患者さま一人ひとりの反応や生活に丁寧に向き合い続ける姿勢を大切に、信頼していただける看護・介護ケアを、自信と根拠をもって提供できるスタッフの育成に、今後も力を入れていきます。

責任者より

看護の目標は「諦めさせない」ことだと思います。NICDは、通常の業務に+αで行うのではなく、毎日続けることに意味があります。受講生には、患者さまのケアを追求し、諦めてはいけないことを実感してほしいです。まずは私が所属する5階病棟(障害者施設等一般病棟)からNICDを発信していき、桜十字の取り組みを多くの人に知ってもらいたいです。

桜十字福岡病院 看護部
看護師 松本教育担当部長

スケジュール

1月	チームビルディング 生活行動回復ケア(総論・廃用症候群)
2月	調整 解剖生理(脳神経・呼吸器・認知症ほか) 調整 栄養調整(低栄養・脱水) 調整 サーカディアンリズムの確立(睡眠・覚醒)
3月	解放 温浴刺激療法、用手的微振動療法ほか 実技 温浴刺激療法、用手的微振動療法ほか 解放 運動力学・姿勢(バイオメカニクス・移動) 実技 ポジショニング・体位変換 行動 生活行動再獲得について 行動 経口摂取行動の確立プログラム 行動 自然排泄行動の確立プログラム 実習に入る前の心得(接遇)
4月	エキスパート生のNICD業務見学 情報収集、アセスメント、看護計画、データ収集 NICD介入対象者相談など
5月 ~	実技 事例介入、対象者見学、抄録作成など 事例発表に向けた準備
10月	事例発表

調整 身体調整看護技術　解放 身体解放看護技術
行動 生活行動再獲得技術　実技 実技

※スケジュールは変わる場合があります

ホスピタルメント 桜十字博多 新エリア登場 リニューアル完成！

「ホスピタルメント桜十字博多」はオープン以来、皆さまから寄せられたご要望やご意見をもとに、医療・介護・サービス面など様々な進化改善を実施してまいりましたが、約10年が経過した今、より質の高い施設を目指し、2025年末に一部設備の改装を行いましたのでご紹介します！

今後もより良いサービスを提供してまいります！

松尾支配人

コンシェルジュデスクを新設！

お客さまや入居者さまのお出迎えがよりスムーズになりました。また、外出時のタクシー手配、荷物のお受け取りなど、入居者さまの生活サポートを行っています。

スタッフステーションをリニューアル！

スタッフが常駐する落ち着いた空間は皆さまの「快適な暮らしの要」としていつでも気軽に立ち寄って相談ができる場所です。

たくさんのお花がお出迎え！

ホスピタグラン 大濠公園 外出レク あなたの願いを叶えます

「ホスピタグラン大濠公園」では、入居者さま一人ひとりの「行きたい」「観たい」「食べたい」という想いに寄り添い、その想いを叶える特別な外出企画を行っています。

事例 取り壊す前の自宅を最後に目に焼き付けたい

「取り壊しが決まった自宅を、最後に見に行きたい」という入居者さまのご希望を叶えるため、スタッフがご自宅まで同行。これまでの思い出を振り返る、かけがえのない時間を過ごすことができたとお喜びいただきました。

入居者さまの願いを叶えるため頑張ります！

小石支配人

他にもこんなご要望にお応えします

外でお肉が食べたい

記念日に思い出のレストランで「美味しいお肉を食べたい」という声にお応えするため、レストランを予約し同行する。

デパートで買い物したい

以前よく行ったデパートへお連れし、好きな洋服やお孫さんへのプレゼントを購入するなどショッピングを楽しむ。

ピクニックがしたい

近くの公園にピクニックに行ったり、カフェで美味しいスイーツを食べたり、眺めの良い場所に行くなど。

※体調や安全面を考慮しご希望に添えない場合もございます。まずは担当までお気軽にご相談ください。

おうちで桜十字

広がるサービス、
深まる絆。

topic 01 訪問診療に続いて、訪問歯科もスタート！ ますます便利に進化中

桜十字グループの池田歯科大濠クリニックが訪問歯科事業を開始。歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士が利用者さまのお住まいに訪問し、必要に応じた治療・口腔ケア・セルフケア指導・摂食嚥下評価や訓練などを行います。口の中の細菌数を減らすことは、誤嚥性肺炎をはじめとする全身の病気予防にもつながります。いつまでもお食事や会話を楽しめる生活ができるようサポートいたします。

福岡市内全域に訪問

ご自宅だけでなく、施設や病院まで、生活環境を問わず幅広く訪問することが可能です。福岡市内全域が対象となります。

医師＋歯科衛生士

虫歯、歯周病、義歯（入れ歯）作製、修理、かみ合わせの調整などの歯科治療に、歯垢、歯石の除去などの口腔ケアも行います。

歯科治療以外にも対応

言語聴覚士による嚥下機能への専門的な評価・アプローチが可能です。口腔トラブルの早期発見とご家族への対応相談も。

topic 02 桜十字グループと、在宅医療のパイオニア 医療法人 ゆうの森 が戦略的統合

医療法人ゆうの森
理事長 永井康徳（たんぽぽ先生）

在宅医療の黎明期より業界を牽引してきた医療法人ゆうの森（愛媛県松山市、理事長：永井康徳、以下、ゆうの森）と桜十字グループは、昨年12月に戦略的統合を行いました。
“たんぽぽ先生”として知られる永井医師とゆうの森チームの取り組みは25年にわたり、その教えを請うため全国の病院・施設関係者が愛媛に視察に訪れるなど、在宅医療のパイオニアとして注目されてきました。
本提携は、ゆうの森が持つ「在宅医療の叡智」と、桜十字が持つ「組織デザイン力・経営力・発信力」を掛け合わせ、質が高く誰もが実践できる医療を「社会インフラ（標準装備）」へと押し上げる、新たな未来への試みとなります。
ここ福岡でも、ゆうの森が長年育んできた“実践可能な教育体系（メソッド）”を吸収し、「あたたかい在宅医療」を当たり前の風景にする・・・その実現に向け尽力してまいります。今後は、福岡からゆうの森を視察に訪れたり、福岡での研修会開催なども予定しています。

topic 03 直接つながる安心のコールセンター！ 電話1本ですべての在宅サービスにアクセス

さまざまな在宅サービスに、電話1本でアクセスできる便利なコールセンターがあるのをご存じですか？「どこに問い合わせたらいいのか分からない」「こんなこと聞いてもいいのかな？」「ケアマネさんには相談しづらい」等ありましたら、「おうちで桜十字」のコールセンターまでお気軽にお問い合わせください。

092-791-1368
折り返しは右記番号より 080-8435-2459

E-mail f.ouchi.s@sakurajyuji.jp
営業時間 9：00 ～ 16：00
休業日 土・日・祝・年末年始

問い合わせ　Instagram　LINE

お知らせ　桜十字大手門病院で初めてのMVP表彰！

1st. February 2026

桜十字大手門病院が開院してから約2年が経ちますが、先日初めて2025年度のMVP表彰を行いました。MVPとは、全職員の約0.5%にあたる方しか選ばれない、福岡桜十字の手本となる職員に与えられる名誉ある賞です。年に1度全職員を対象に選出され、勤務態度、リーダーシップ、患者さま・同僚からの信頼、技術、知識などの項目で、年間を通じて高い評価を得た方だけが選ばれます。桜十字大手門病院では右記の方が初のMVPに選出されました。

金色に光り輝く「桜マーク」がMVP受賞者の証！ぜひ名札をチェックしてみてください ▶

【選定理由】

- 的確な指導と交流促進により、世代や部署を超えた連携体制を構築。自ら他部署へも積極的に働きかけることで職務理解を広め、チーム全体の働きやすい環境づくりを支えている。
- 学会発表に積極的に取り組み、難しい症例に対しても知識と経験をもとに最適な対応策を導き出している。常に学び続ける姿勢は、部門全体の技術向上に大きく貢献している。

【所属長からのコメント】

日頃から責任感を持ち、与えられた役割をしっかりと果たすとともに、リハスタッフだけでなく多職種とのコミュニケーションも積極的に行い、患者さまへの退院支援がスムーズにいくように働いています。また、自己研鑽も積極的に行い、研修会への参加だけでなく、学会発表などでどんどん知識を蓄え、院内の勉強会で還元してくれています。周囲を支えながら業務を遂行する姿勢は、部内のみならず病院全体の模範となっています。

磨き続けた知識と揺るがない人望！現場を支えるリハビリ部のエース

馬場さん　理学療法士
（リハビリテーション部／リーダー）

この度は、MVPという素晴らしい評価をいただき、心より感謝申し上げます。この賞は医師、看護師、コメディカルの皆さま、そしてリハビリテーション部スタッフの支えがあり受賞できたと思っております。患者さまの「歩きたい」「帰りたい」という願いを一つでも多く叶えられるよう、より一層チーム医療に貢献していきたいと考えています。理学療法士としてまだまだ未熟ではありますが、今回の受賞に恥じぬよう、より質の高いリハビリテーションを提供できるよう精進いたします。

【受賞者インタビュー】

Q. 仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

A. 気持ちよく一日を始められるよう意識しています。リーダーとして後輩を指導する立場ですので、前向きな気持ちで業務に臨んでいます。

Q. 今後の目標はありますか？

A. 後輩スタッフへの知識継承や人材育成につなげるためにも、論文発表や学会発表などの研究活動を積極的に進めていきたいと思っています。

お知らせ　福岡市医師会永年勤続表彰

20th. January 2026

福岡市医師会の永年勤続表彰は、長期にわたり医療機関に貢献した医師や看護職員などを対象に、福岡市医師会を通じて顕彰する制度で、勤続年数（10年、20年、30年など）に応じて各病院で授与式が行われます。福岡桜十字でも、今年43名が表彰されました。

勤続10年：38名／勤続20年：4名／勤続30年：1名

受賞者からは「長年の苦労が報われた気がしてうれしい。今後も医療従事者として福岡市の医療・介護に貢献していきたい」などの声が聞かれました。

Group's Topics

sakurajuji グループの今を知る

“今”を知ると“未来”が見えてくる

成長を続ける桜十字グループの
事業の一部&最新トピックスをご紹介します。

＼ @全国 ／ 新しいグループロゴが誕生！

sakurajuji

2005年にスタートした桜十字グループは、創立20周年を機にロゴマークを刷新いたしました。これは、桜十字グループの新たなビジョン「WELL-BEING FRONTIER（ウェルビーイング・フロンティア）」の実現に向け、そこに込めた想いや決意を社会と共有していくという強い決意の表れです。
グローバルな展開と認知拡大を見据え、グループ名称の表記を、従来の日本語表記から、アルファベット表記の「sakurajuji」へと変更しました。文字の下に配置したリボンのような造形は、人・まち・未来を結びながら、ウェルビーイングな社会を全国へ、そして世界へと広げていく桜十字グループの意志を表現しています。左側の桜色は、人々を癒してきた「桜」を象徴するとともに、桜十字グループの原点である“始まり”を表しています。右側は、「ゆかり」とも読める紫色で、人と人との縁やつながりを象徴する色として、多様な人々の想いが結ばれ、豊かな未来社会を創っていく意志を示しています。

また、この新グループロゴとともに、グループの事業領域を以下の3つに大きく再編いたしました。医療という確かな基盤を中心に、暮らしや人生に豊かな体験を提供する領域、そしてその価値を支え社会へと広げ続けるソリューション領域を加えた3つの役割からなる事業構造へと桜十字グループは今後進化していきます。

Medical 医療	Experience 体験	Solution 経営基盤

創業時に抱いた「人々が微笑みながら集う場所でありたい」という想いは、20年の歩みを経て、社会全体へと広がるビジョンへと昇華しました。医療を確かな基盤としながら、暮らし、体験、社会のあり方までを見据え、人生100年時代の「生きる」を満たす存在であり続けること。
新しいグループロゴとともに、桜十字グループはWELL-BEING FRONTIERとして、未来を切り拓く挑戦をこれからも続けていきます。

＼ @東京 ／ 六本木ヒルズクリニックOPEN

昨年4月に開院した「渋谷サクラステージ桜十字クリニック」に続き、2026年3月に国際的なビジネスと文化の中心地である六本木ヒルズ森タワー 6階に「六本木OPEN！桜十字クリニック」が「身体的な空間」をコンセプトに有機的な曲線と、柔らかな光、左官や木材などの自然素材が用いられ、心理的な安心感をもたらす空間デザインにも注目です。

＼ 2026年は福岡プロモーションを強化！ ／

2026年 正月広告

お正月の西日本新聞朝刊（通し版：福岡、佐賀、長崎、大分、熊本）に全15段広告を出稿しました。
新しいロゴマークの浸透とそこに込めた想いと決意を表現するヴィジュアルになっています。

2026年 1月5日～

福岡エリア放送局（RKB毎日放送、KBC九州朝日放送、FBS福岡放送）の人気番組で新しいTV-CMを放送中です。CM冒頭は福岡の大濠公園で撮影したカットが入っています！ぜひご覧ください。

2026年 1月29日～

インパクト抜群のコピーが目を引く高速道路屋外看板を、福岡都市高速道路（福岡高速環状線）の千代出入口付近に設置しています。都市部へ向かう環状線内回り（半時計回り）で見ることができます。

ReSUNOKO通信 vol.10

医療と住まい、そして憩いの場が融合した、安全安心なまちづくりの実現に向けて
「りすのこスクエア」で行っている様々な活動・取り組みをご紹介します。

老舗医療雑誌に特集いただきました！

24年1月のグランドオープンから2周年を迎えた「りすのこスクエア」と「桜十字大手門病院」について、老舗医療雑誌の『月刊最新医療経営フェイズ・スリー』にて特集記事を掲載いただきました。医療提供のみならず、地域に開かれ、地域と連携する病院事例として取り上げていただきました。今後も地域に根差し、地域を盛り上げる、開かれた病院の先進事例となるよう、様々な取り組みを進めてまいります。

りすのこ壁画アートが完成！ いつでもご自由に鑑賞できます

前号でもお伝えした「りすのこ壁画アートプロジェクト」のお披露目会が、昨年11月に開催され、地域の皆さまの筆入れを経て無事完成いたしました。すのこ体育館駐車場壁面に描かれていますので、いつでも、どなたでも自由に鑑賞いただけます。簀子地区の過去と未来を詰め込んだアート作品です。今後10年、20年と愛され続ける場所になると嬉しいです。

Recipe vol.20

お食事部の

健康レシピ

脂がのった冬のきびなごを骨まで丸ごと食す！

きびなごの南蛮漬け

月に一度の「四季彩膳」の中から一品、ご家庭でもできるメニューのレシピをご紹介します。

材料（2人分）

- きびなご …… 100g
- 新玉ねぎ …… 100g
- にんじん …… 20g
- 赤・黄パプリカ …… 各20g
- ピーマン …… 20g
- 生姜 …… 10g

調味料
- 昆布出汁 …… 180cc
- 酢 …… 30cc
- 濃口しょうゆ …… 30cc
- みりん …… 30cc
- 砂糖 …… 30g
- 鷹の爪 …… 1/2本

作り方

1. 野菜はすべて千切りにカットする。
2. 洗って水気をきったきびなごに小麦粉をつけて180℃の油で揚げ、深めのバットに入れておく。
3. 調味料を鍋で沸かし、ピーマン以外の野菜を入れ再沸騰させる。沸いたら熱いうちに煮汁ごと"2."のバットに入れ、粗熱が取れたら冷蔵庫へ。
4. ピーマンはさっと茹で、水に落とし軽く塩をふっておく。
5. 器に"3."のきびなごと野菜を盛り、"4."のピーマンを飾り付ける。

松尾頼 料理長

四季彩膳とは

四季を彩る食材を使い、普段とは少し趣を変えたお食事を楽しんでいただきたいと、月に一度**「四季彩膳」**を実施しています。
「医食同源」の考えのもと、患者さまの心身の健康をつくる"食"を大切に、食べる喜びを感じていただけるよう、お食事作りに取り組んで参ります。

PICK UP! Inside

福岡桜十字の気になる部署や施設をご紹介　人事

桜十字の福利厚生のひとつ、eラーニング「サクラアカデミー」を活用

桜十字福岡病院人事部
タレントマネジメントリーダー
金子さん

誰でも学べる動画研修

桜十字では、福利厚生のひとつとして、いつでも、どこでも、誰でも気軽に必要な知識やスキルを学べるeラーニングシステム「サクラアカデミー」を提供しています。

職員から寄せられた「ビジネスマナーが守れているか不安…」「よりよいプレゼンの方法が知りたい…」「部下や同僚との接し方を見直したいがどうしたらいいのか分からない…」という不安の声にお応えし、皆さまが安心して学べるよう、動画によるコンテンツを開発しました。

主なコンテンツ内容は、①新入社員、若手社員、中堅社員向けの年次研修と、②対人スキル向上や業務運営等を含む管理職初任者研修に加えて、③倫理行動指針やハラスメント対策などの全体研修となっています。

コンテンツ開発に携わった人事の金子リーダーからは「職員の皆さまの声をもとに、働きやすさにつながる研修内容を1本10分程度の動画にまとめています。今後も皆さまのお役に立てるコンテンツ開発に力を入れていきますので、是非ご活用ください」とのことです。

新入職の方から、新しく管理者になられた方まで幅広く活用できる、このeラーニングシステムの研修を通じて、社会人として、そして桜十字の一員としての学びを、全力でサポートしていきます。

---

rejoyce

ホスピタルと街を繋ぐカフェレストランrejoyceの渡辺通店と大手門店。それぞれのトピックスや人気メニューについての最新情報をお届けします。

OPEN Welcome

website

リジョイス渡辺通店では、季節のフルーツをたっぷり使ったスイーツフェアを定期的に開催しています。春から夏にかけては、イチゴやパイナップル、そして大人気の桃がそれぞれ登場予定です！それ以外にもおひとりからでも楽しめるアフタヌーンティーもご用意しています♪モーニングからランチ、ティータイムまで、ぜひ緑あふれる空間でゆったりとした時間をお楽しみください。

福岡市中央区渡辺通3-5-11
092-791-1231
10:00 ～ 18:00(L.O.17:00)
休 なし※年末年始のぞく

リジョイス大手門店で人気の「自家製ジンジャーレモネード」。その名のとおり、自家製のジンジャーシロップを毎週お店でイチから手作りしています。グツグツと煮詰めたお鍋から香るシナモンのスパイシーな香りが店内に立ち込めます。大きなガラス窓から望める緑あふれる中庭やすのこ芝生広場が隣接した空間で、ホッと一息リラックスの時間をお過ごしください。

福岡市中央区大手門3-15-1
092-753-3719
10:00 ～ 17:30(L.O.17:30)
休 毎週水曜日※月によって変動あり

おうちで桜十字　桜十字の在宅サービス

退院後の生活が不安な方、まずはご相談ください

- ☑ 退院後をお考えの方
- ☑ 在宅介護をされている方
- ☑ 高齢者住宅をお探しの方

居宅介護支援事業所（ケアプランサービス）

理学療法士・作業療法士が考えたデイサービス
Let's リハ！

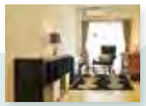
リハビリと趣味を楽しみながら健康づくり
デイケアセンター

日常生活の維持・回復をサポート
訪問リハビリテーション

ご自宅・ホスピタでの療養生活を支援
訪問看護ステーション

ホスピタ内で日常生活のお手伝い
訪問介護ステーション

病院が考えた介護が必要な方のための住まい
ホスピタルメント



診察、検査等の実施で健康管理
訪問診療

コールセンター

092-791-1368
折り返しは右記番号より 080-8435-2459
問い合わせ

E-mail　f.ouchi.s@sakurajyuji.jp
営業時間　9：00 ～ 16：00
休業日　土・日・祝・年末年始

公式SNSで最新情報を発信中

介護老人保健施設 レ・ハビリス桜十字 の在宅生活支援

「ADLが落ちてきたかも…」（日常生活動作）
——という方

ご本人の心身機能の維持回復

- ☑ 1～3ヶ月の入所で集中的にリハビリを行い、機能回復を果たし、元気に自宅へ戻る方が多数おられます。
- ☑ 定期的な入所を繰り返し、自宅生活を維持できます。

「介護疲れしてしまった」
——というご家族

ご家族の介護の負担軽減

- ☑ 「息抜き」「休息」を意味する「レスパイトケア」で、介護者の休息や負担軽減を図ります。
- ☑ 介護者が楽になることで介護疲れや共倒れを防ぎ、介護の継続を可能にします。

強み

- ■ セラピスト7名を配置（言語聴覚士も配置）
- ■ 365日リハビリを実施
- ■ 在宅復帰・在宅療養支援機能加算の算定施設
- ■ 在宅復帰の支援を強化（在宅強化型支援）

短期入所OK　繰り返し入所OK　ショートステイOK　体験入所OK

レ・ハビリス桜十字への入所ご相談は

介護老人保健施設 レ・ハビリス桜十字 092-791-1150

病院が考えた、介護が必要な方のための住まい ホスピタルメント福岡天神

1 病院を母体とした「医療」と「介護」のプロです。

同一建物内には協力医療機関である桜十字福岡病院があり、身近なかかりつけ医として様々な診療科目を受診できるため、入居者さま・ご家族の安心につながります。

2 他の施設に受け入れを断られた方も、まずはご相談ください。

施設には24時間看護師・介護士が常駐し、自立から介護が必要な方までお受けできる体制を整えています。

3 リハビリで、動く喜びをいつまでも。

機能訓練のプロフェッショナルが一人ひとりに合ったプランを作成し、効果的なリハビリをご提案します。

4 私たちは、入居者さまの満足を最大限に追求します。（お客さま至上主義）

私たちは、入居者さまのことを一番に考え、入居者さまやご家族の日々のちょっとした声も拾い上げ、短時間でサービスの改善を行う体制を整えています。

5 安心してくつろげる、快適な暮らしを提供いたします。

わが家のように、自由にのびのびと暮らしていただけるよう、サービスも充実させています。

24時間看護師・介護士常駐

専属料理人が作るお食事

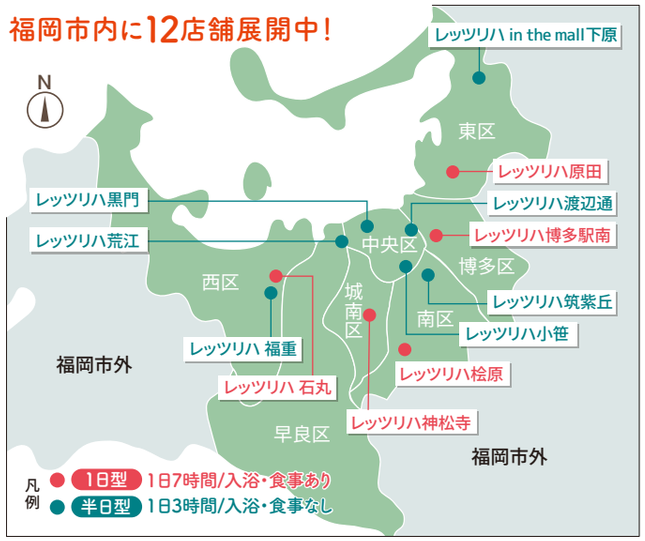
終の棲家

協力医療機関 桜十字福岡病院

見学・相談会随時開催中 ご相談はこちら 092-791-1200

関連施設　ホスピタルメント桜十字博多　ホスピタグラン大濠公園

福岡市内に12店舗展開中！



- ●黒門店／092-726-7170
- ●渡辺通店／092-791-1981
- ●筑紫丘店／092-555-8460
- ●荒江店／092-407-1305
- ●原田店／092-260-3013
- ●博多駅南店／092-292-0596
- ●小笹店／092-753-8152
- ● in the mall下原店／092-692-2875
- ●福重店／092-834-7071
- ●石丸店／092-707-7241
- ●桧原店／092-555-2681
- ●神松寺／092-836-7123

★他にも、福岡市外に5店舗、佐賀県内に2店舗展開中です。
（1日型と半日型が選べるMIX店舗もあります）

リハビリの専門家が考えたデイサービス

Let's リハ！

／「したい」を「できる」に。＼

特徴1 利用者さまのニーズに合わせた店舗が選べる

特徴2 セラピストが常駐しています！

特徴3 定員15～18名の小規模デイサービス

◀今後も新店舗OPEN予定!!
詳しくはHPをご覧ください。

予約制

見学・無料体験受付中!!
お近くのLet's リハ！へご相談ください

ドクター紹介（常勤）

【循環器内科】
山本 雄祐

【内科・放射線科】
今村 博孝

【循環器内科】
蒲地 徹

【健診センター】
髙司 由理子

【整形外科】
宮崎 清

【リハビリテーション科】
東 世智

【消化器内科】
平塚 潤

【漢方内科】
木村 豪雄

【脳神経内科】
森 由紀子

【呼吸器内科】
花田 清美

【総合診療内科】
福田 寿里

【内科】
吉田 美奈子

【内科】
田浦 康明

【糖尿病内科】
濵 有一郎

【総合診療内科】
巣山 久実

【消化器内科】
垣内 誠也

【消化器内科】
眞鍋 繁雄

【放射線科】
豊島 宏

【訪問診療】
河村 康司

【産業医】
池上 和範

【産業医】
朝長 諒

外来診察表（非常勤医師含む）

糖尿病内科および専門外来は、すべて予約制になります。
午前／8:30～13:00(受付12:30まで)　午後／13:00～17:30(受付17:00まで)

令和８年２月１日現在		月	火	水	木	金	土
内科	午前	山本・濵田	山本(～11:30) 濵田	鮎川・濵田	蒲地・松尾	濵・巣山	－
	午後	花田・吉田	平塚(14:00～) ○	眞鍋(14:00～) 田浦	山本・花田	福田 垣内(14:00～)	－
総合診療内科	午前	濵田	濵田	濵田	－	巣山	－
	午後	－	○	－	－	－	－
消化器内科	午後	－	平塚(14:00～)	眞鍋(14:00～)	－	垣内(14:00～)	－
循環器内科	午前	山本	山本(～11:30)	－	蒲地	－	－
	午後	－	－	－	山本	－	－
呼吸器内科	午後	花田	－	－	花田	－	－
糖尿病内科	午前	－	－	－	○	濵	－
専門外来 漢方内科		－	木村(～12:00)	木村(13:00～)	木村(13:00～)	木村(～12:00)	第1・3土曜のみ 木村 豪雄 漢方内科 (8:30～12:30)
専門外来 リハビリ外来		－	－	－	－	東(13:00～)	
専門外来 歩行装具外来		－	－	－	－	東(13:00～)	
専門外来 整形外科		－	－	－	宮崎 (13:00～15:00)	－	第3土曜のみ 東 世智 漢方内科 (8:30～12:30)
専門外来 脳卒中外来		－	－	－	○ (～11:30)	－	
専門外来 発熱外来		○	○	○	○	○	

ご予約
お問い合わせ

092-791-1100

【平 日】8:30～17:30
【土 曜】8:30～12:30(第1・3土曜のみ)
【休 診】土曜(第2・4)、日曜日、祝祭日、年末年始

外来診療科目

糖尿病内科

病気の進行により、視力障害、神経障害、腎障害等の合併症が起こり、重い障害をきたす糖尿病。専門医が、個人の症状・生活に合わせた、きめ細かい診療を行っています。

【対象となる症状】
糖尿病の方、のどが渇く、尿の回数が多い、体がだるいなど

専門外来

漢方内科

冷え性、慢性疲労、胃腸虚弱、生活習慣病、更年期障害やストレス障害、肥満（メタボリックシンドローム）、睡眠障害、乾燥肌、多汗等でお困りの方はご相談ください。

リハビリ外来

脳卒中、整形外科疾患などで日常生活にお困りの方に、リハビリテーションの提供や生活指導などを行っております。

歩行装具外来

主に脳卒中片麻痺患者さまの歩き方や装具の検討を行っております。身体に合った装具や装具に合わせる靴のご相談も承っております。

整形外科

首、肩、手、腰、股関節、膝、足の痛みの治療から、リハビリテーションまでご相談ください。

脳卒中外来

脳血管の詰まり、裂けから起こる脳卒中の発症及び再発予防のための診療を行っています。言語障害、手足の運動障害、半身麻痺、しびれ、めまい、感覚の低下、意識障害などの症状でお困りの方はご相談ください。

発熱外来

発熱・風邪症状の方は、3階外来来院の前に、必ずお電話での予約をお願いいたします。※完全予約制

内科

内科系疾患全般を幅広く診る内科では、どの領域の疾患か特定するのが困難な患者さまや、高血圧やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病の診療を行っています。

総合診療内科

どの科にかかってよいかわからない方を最初に診る科です。会話を通じて丁寧に診察し治療方針などを定めます。総合的な観点で内科全般の診断と適切な専門診療科への相談を行います。

【対象となる方】
①どの診療科にかかるか判断がつかない症状の方
②複数の医療機関で診療を受けたものの診断がはっきりしない方
③他院での説明が納得できずセカンドオピニオンをご希望の方

消化器内科

食べ物が入ってから出るまでの臓器（胃や腸など）を対象に診療を行います。また、内視鏡（カメラ）を使用した胃内視鏡、腹部超音波検査を完備しています。

循環器内科

主に心臓や血管の病気を診察します。
これらの病気は生活習慣との関連が深いため、生活習慣の改善指導も積極的に行っています。病気だけでなく生活習慣が気になる方も、是非ご相談ください。

呼吸器内科

【対象となる症状】
せき、痰、息切れ、喘鳴（ぜーぜー）など